

鶴城中だより

文責 校長 船津 巧 No.6

感謝の気持ち・自らの糧

困難に耐え、苦難に打ち勝つことは、長い人生で何度か経験することだろう。苦難や困難、災難などの「難」がないことを「無難(ぶなん)」という。しかし、「難」が有ることは「ゆうなん」とは言わず「有難(ありがた)い」となる。

この夏、リオオリンピックに釘付けになった人も多かったはずだ。「試合は終わってしまうまでわからない。」という。残り数秒で逆転した柔道や陸上400mリレーなど、枚挙に遑(いとま)がない。

他にも、「先輩をメダルなしで日本に帰らせるわけにはいかない。」「毎日12時間の地獄の練習をしてみました。」「世界一厳しい練習をしてきたから世界一になれた。」「最後は、やっぱり(亡くなった)お母さんが助けてくれた。」「いろいろあったけど、平井先生にメダルをかけてあげたい一心で泳ぎました。」など、たくさんの名言が記憶に残っている。そして、誰もが、「家族」や「監督・コーチ」に応援してくれたみんな「日本」などの言葉をあげながら感謝していた。以前は参加することに意義があると言われていたオリンピック。いつしか金メダルを取るものが中心になってきたのかもしれない。吉田選手は、「銀メダルに終わってしまったって申し訳ない。日本選手団の主将としてメダルを取らないといけない」ところだったのに、ごめんなさい。」と号泣した。私たち国民も、メダルを意識しすぎているのかもしれない。さて、9日からパラリンピックが始まる。彼らの頑張る姿に、また眠れない日々が…。頑張れ！そして、楽しんで来てください。

30名余りの生徒たちを選抜し、夏休み期間中朝早くから練習を重ねてきました。猛暑の中の練習に耐えてきた生徒の顔は、日に焼け自信に満ちているようです。

陸上練習



8月20日(土)、早朝から一時間の作業。生徒だけの手ではどうも無理なグラウンド周辺の除草を行いました。お忙しい中本当にありがとうございました。

親子奉仕作業

夏休み あんな事こんな事

県中体連大会出場

7月23日・24日、五名市蛇ヶ谷公園テニスコートにて、県中体連大会ソフトテニス大会が開催されました。山鹿市代表として、本校は女子団体と女子個人(上野・中島ペア)、男子個人(築島・境ペア)が参加しました。最後の最後まであきらめることなく善戦しましたが、一回戦で敗戦。後輩に夢を託して。



廃品回収

8月7日(日)、早朝からアルミ缶や新聞紙などをたくさん積んだ車が学校に集まってきました。保護者に協力していただき生徒たちが廃品回収をしました。生徒数が少なくなったため、今年から、各世帯を集めて回るのではなく、各地区の公民館に出していたいたものを回収するようにしました。校区の皆様のご理解とご



(収益は、81,770円でした。)

協力に感謝いたします。生徒会活動等に使用させていただきます。

ようこそ先輩

8月19日、高校一年生と二年生の先輩10名が全校生徒の前で、「高校生活で大変なことは?」「なぜその高校に行こうと思ったのか?」などの質問に答えてくれました。先輩方ありがとうございます。



感謝・感謝

鹿本商工高校の機械科の先生と本校卒業生に、グラウンドを整備するための器具を造っていただきました。

車で引張り整備していきたくらいと思いません。

